

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：労働費 項：職業訓練費 目：職業訓練校費

事業名 情報システム等整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部労働雇用課職業能力開発係 電話番号：058-272-1111(内3126)

E-mail：c11367@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 **10,324 千円** (前年度予算額：**10,324 千円**)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	10,324	0	0	0	0	0	0	0	10,324
要求額	10,324	0	0	0	0	0	0	0	10,324
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

国際たくみアカデミー（美濃加茂市）、木工芸術スクール（高山市）の各校における、ITを活用した授業、学生の就職活動支援に活用するための情報システム（通称：国際たくみ情報システム）の機器等を賃借し、維持管理業務を委託する。

(2) 事業内容

国際たくみ情報システムの構築及び賃貸借・維持管理業務委託

(3) 県負担・補助率の考え方
県

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	3,510	保守料
使用料・手数料	6,814	賃貸借、使用料
合計	10,324	

決定額の考え方

--

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 職業能力開発促進法に基づき設置・運営している県立職業能力開発訓練施設において、ITを活用した授業、学生等の就職活動支援等に活用する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

職業訓練の実施に必要なIT機器について整備するものであり、数値的な指標を設けることは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 国際たくみアカデミー及び木工芸術スクールにおいて情報システムを活用した授業及び就職活動支援等を実施した。
令和 3 年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>授業・訓練や広報・就職支援等に使用する一連のサーバの保守や、指導員・訓練生用パソコンの保守運用等に関する経費。 厚生労働省の第11次職業能力開発計画において、公的職業訓練のICT化を推進しており、岐阜県としても職業訓練のDXを達成し、業務全体の見える化、効率化、簡素化を進め、地元企業や訓練生、指導員の満足度を向上させていく必要があることから、その基盤となる当該システムの必要性は増加している。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>昨年度同様、パソコン機器及びネットワーク環境の整備・保守により、訓練に必要な情報収集、情報共有などに活用した訓練を実施している。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価) 1	<p>昨年度同様、学生も使用するパソコン機器及びネットワーク環境のセキュリティ管理及び機器の借上げを行うことにより、適正な環境での訓練を実施している。 次期更新に向けて、さらに効率的な運用について検討を行っている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 IT技術の進歩等に対応して行くため、情報システムの整備を適切に行って行く必要がある。AIへの対応も含めた訓練を行っていく。オンライン訓練を行うためにも、システムの使用状況等の改善を行っていく。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 職業訓練における情報システムの必要性を踏まえ、計画的な整備を実施していく。特に、新型コロナウイルス感染症対策及びアフターコロナに必ず必要なシステムであるため、この事業を訓練の改善に取り入れて行っていく。</p>
--

(他事業と組み合わせる場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	

県単独補助金事業評価調書

 新規要求事業

 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者 (団体)	(理由)
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例: 人件費相当額) (内容) (理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位: 千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none">取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none">事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none">事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none">継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
